

岐阜県における医師の現状について



令和5年10月19日

健康福祉部

医療福祉連携推進課

岐阜県内の医療施設従事医師数の推移

年 別	医療施設 従事医師数	人口10万人対				
		岐阜県	前回から の変化率	順位	全 国	前回から の変化率
平成10年	3,181	150.4	-	44	187.3	-
平成12年	3,346	158.8	1.056	44	191.6	1.023
平成14年	3,413	161.7	1.018	44	195.8	1.022
平成16年	3,482	165.0	1.020	43	201.0	1.027
平成18年	3,641	173.0	1.048	40	206.3	1.026
平成20年	3,734	177.8	1.028	41	212.9	1.032
平成22年	3,933	189.0	1.063	38	219.0	1.029
平成24年	4,028	195.4	1.034	38	226.5	1.034
平成26年	4,141	202.9	1.038	37	233.6	1.031
平成28年	4,223	208.9	1.030	37	240.1	1.028
平成30年	4,295	215.1	1.030	37	246.7	1.028
令和2年	4,442	224.5	1.044	37	256.6	1.040

出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

県内の医療施設従事医師数については、平成10年から令和2年まで一貫して増加している。

二次医療圏別の医療施設従事医師数の状況

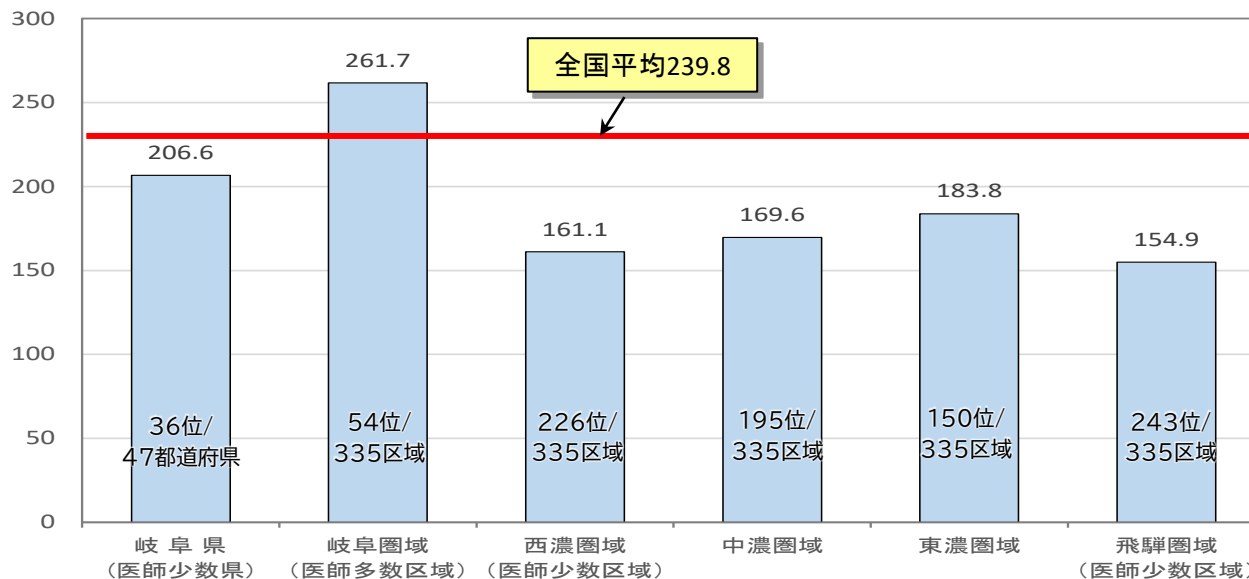
二次医療圏	平成28年	平成30年	令和2年	増減 (30-2年)	人口10万人対				
					平成28年	平成30年	変化率 (28-30年)	令和2年	変化率 (30-2年)
岐 阜	2,180	2,188	2,312	124	272.8	275.3	1.009	291.3	1.058
うち岐阜市	1,597	1,565	1,669	104	393.3	388.3	0.987	414.6	1.068
西 濃	611	608	618	10	165.2	166.9	1.010	172.4	1.033
中 濃	578	620	626	6	155.3	168.2	1.083	171.8	1.021
東 濃	596	616	619	3	178.2	187.7	1.053	191.3	1.019
飛 騨	258	263	267	4	175.2	183.0	1.044	192.2	1.050
岐阜県	4,223	4,295	4,442	147	208.9	215.1	1.030	224.5	1.044
全 国	304,759	311,963	323,700	11,737	240.1	246.7	1.028	256.6	1.040

全ての医療圏において医療施設従事医師数が増加している。

医師偏在指標について

- これまで地域ごとの医師偏在を測る指標として人口10万人対医師数が用いられてきたが、全国ベースで医師の多寡を統一的・客観的に比較・評価する新たな指標として、医療需要・人口構成、医師の性別・年齢分布等を加味した「**医師偏在指標**」が令和元年度に国から提示された。
- 医師偏在指標の下位3分の1が医師少数県及び医師少数区域に設定。
- 医師偏在の是正を図るため、「目標医師数」や目標を達成するための「施策」を定めた医師確保計画（R2～R5）を策定。

医師偏在指標 (H28三師統計(医師・歯科医師・薬剤師統計)より算定)



医師確保計画（R2～R5）について

■ 目標医師数（令和5年）

（単位：人）

区分	医療施設従事医師数 （H30年） <small>厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」</small>	医療施設従事医師数 （R2年） <small>厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」</small>	保健医療計画の人口10万人対 医師数の目標値（R5年）	目標医師数 （R5年）	目標達成に必要な増加数 （R2年から）
岐阜県	4,295	4,442	235.9	4,553	111
西濃圏域	608	618	-	664以上	46以上
飛騨圏域	263	267	-	287以上	20以上
岐阜圏域	2188	2312	-	西濃・飛騨圏域と合わせて増加数が111人となるよう取り組む。	
中濃圏域	620	626	-		
東濃圏域	616	619	-		

■ 目標医師数を達成するための施策

- 1 地域卒卒業医師の確保
- 2 岐阜県医学生修学資金貸付制度による県内で勤務する医師の確保
- 3 自治医科大学卒業医師の確保
- 4 臨床研修医の確保
- 5 専攻医の確保
- 6 岐阜県医師育成・確保コンソーシアムによるキャリア形成支援
- 7 勤務環境を改善するための施策 等

医師偏在指標の推移

- 現行の医師確保計画が令和5年度に終期を迎えるため、今年度中に次期医師確保計画を策定。
- 国から新たに医師偏在指標【暫定値】が示されている。

区分	医師偏在指標 (H28年三師統計より) ①	医師偏在指標【暫定値】 (R2年三師統計より) ②	②-①	増加率(%) ②/①-1	
全国	239.8	255.6	15.8	6.6	
岐阜県	206.6	221.5	14.9	7.2	医師少数県
飛騨圏域	154.9	168.0	13.1	8.5	医師少数区域
西濃圏域	161.1	168.1	7.0	4.3	医師少数区域
中濃圏域	169.6	190.5	20.9	12.3	
東濃圏域	183.8	201.0	17.2	9.4	
岐阜圏域	261.7	275.6	13.9	5.3	医師多数区域

- 全国は15.8増加しているのに対して本県は14.9の増加となっており、全国平均との乖離がさらに広がっている。
- したがって、岐阜県全体の医師偏在指標は増加しているものの、依然医師少数県。
- 各圏域の医師偏在指標もすべて増加しているものの、西濃圏域及び飛騨圏域は依然医師少数区域。

医師偏在指標（暫定版）数値比較結果 1

◇ 都道府県別医師偏在指標数値（指標順）

令和5年4月厚生労働省提供
 医師偏在指標に係るデータ集（抜粋）
 （R2三師統計（医師・歯科医師・薬剤師統計）より算定）

順位	都道府県	医師偏在指標	順位	都道府県	医師偏在指標	順位	都道府県	医師偏在指標
	全 国	255.6						
上位1/3			中位1/3			下位1/3		
1	東京都	353.9	17	兵庫県	266.5	32	山口県	228.0
2	京都府	326.7	18	島根県	265.1	33	宮崎県	227.0
3	福岡県	313.3	19	滋賀県	260.4	34	三重県	225.6
4	岡山県	299.6	20	大分県	259.7	35	岐阜県	221.5
5	沖縄県	292.1	21	鹿児島県	254.8	36	長野県	219.9
6	徳島県	289.3	22	広島県	254.2	37	群馬県	219.7
7	大阪府	288.6	23	神奈川県	247.5	38	千葉県	213.0
8	長崎県	284.0	24	宮城県	247.3	39	静岡県	211.8
9	石川県	279.8	25	福井県	246.8	40	山形県	200.2
10	和歌山県	274.9	26	愛媛県	246.4	41	秋田県	199.4
11	佐賀県	272.3	27	山梨県	240.8	42	埼玉県	196.8
12	熊本県	271.0	28	愛知県	240.2	43	茨城県	193.6
13	鳥取県	270.4	29	富山県	238.8	44	福島県	190.5
14	奈良県	268.9	30	北海道	233.8	45	新潟県	184.7
15	高知県	268.2	31	栃木県	230.5	46	青森県	184.3
16	香川県	266.9				47	岩手県	182.5

医師偏在指標（暫定版）数値比較結果 2

◇ 二次医療圏別医師偏在指標数値(全国335医療圏)

令和5年4月厚生労働省提供
 医師偏在指標に係るデータ集（抜粋）
 （R2三師統計（医師・歯科医師・薬剤師統計）より算定）

医療圏別	医師偏在指標	順位	
全 国	2 5 5 . 6		
岐阜県	2 2 1 . 5	3 5 位	下位33.3%
岐阜医療圏	2 7 5 . 6	5 4 位	上位33.3%
西濃医療圏	1 6 8 . 1	2 4 6 位	下位33.3%
中濃医療圏	1 9 0 . 5	1 9 2 位	
東濃医療圏	2 0 1 . 0	1 5 5 位	
飛騨医療圏	1 6 8 . 0	2 4 8 位	下位33.3%

医師偏在指標（暫定版）数値比較結果 3

◇ 産科における医師偏在指標数値（全国284周産期医療圏）

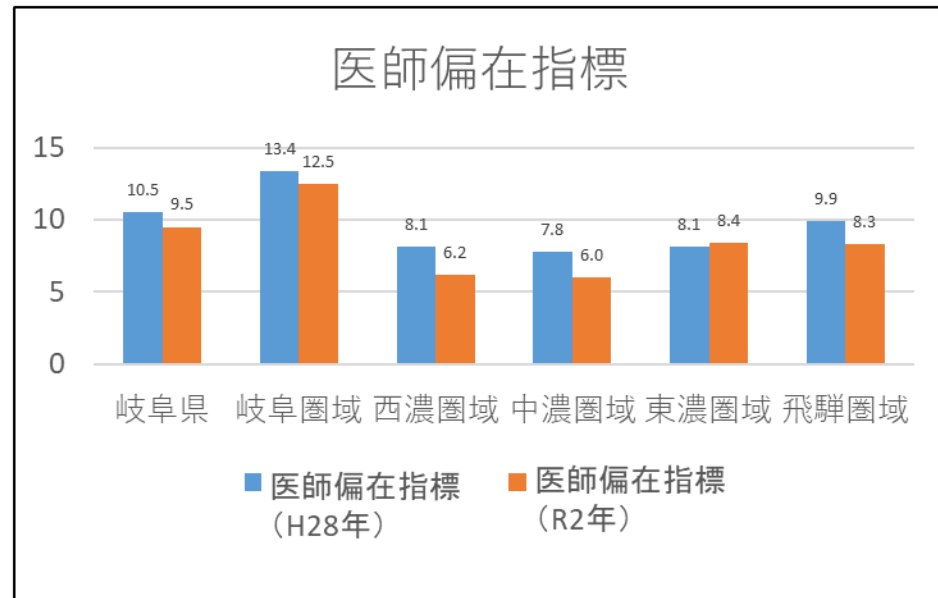
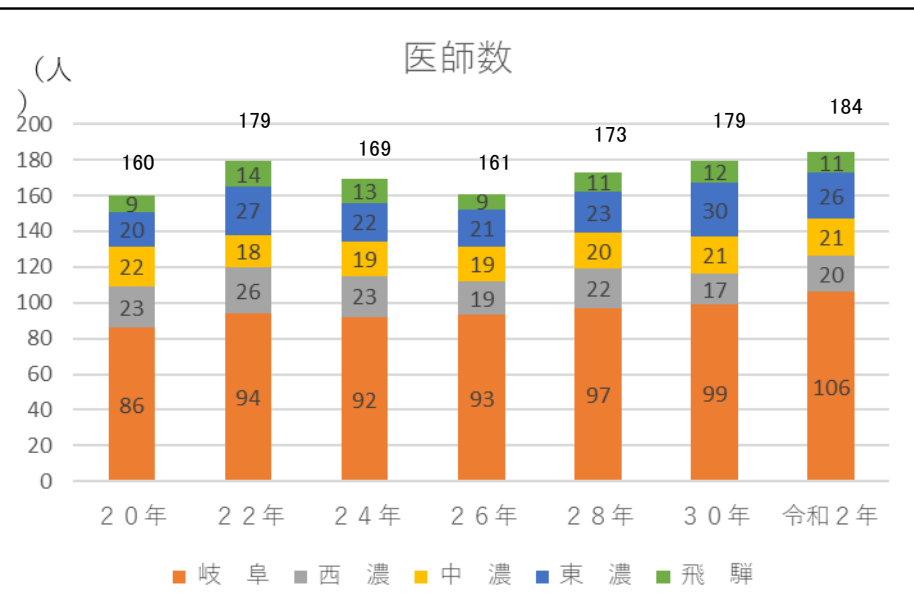
令和5年4月厚生労働省提供
 医師偏在指標に係るデータ集（抜粋）
 （R2三師統計（医師・歯科医師・薬剤師統計）より算定）

医療圏別	医師偏在指標	順位	
全 国	10.6		
岐阜県	9.5	33位	下位33.3%
岐阜医療圏	12.5	62位	
西濃医療圏	6.2	242位	下位33.3%
中濃医療圏	6.0	248位	下位33.3%
東濃医療圏	8.4	160位	
飛騨医療圏	8.3	164位	

岐阜県における医師の現状（産科）

～医師・歯科医師・薬剤師統計から～

	医師数(人)							医師偏在指標	
	H20年	H22年	H24年	H26年	H28年	H30年	R2年	H28年	R2年
岐阜県	160	179	169	161	173	179	184	10.5	9.5
岐 阜	86	94	92	93	97	99	106	13.4	12.5
西 濃	23	26	23	19	22	17	20	8.1	6.2
中 濃	22	18	19	19	20	21	21	7.8	6.0
東 濃	20	27	22	21	23	30	26	8.1	8.4
飛 騨	9	14	13	9	11	12	11	9.9	8.3



医師偏在指標（暫定版）数値比較結果 4

◇ 小児科における医師偏在指標数値（全国307小児医療圏）

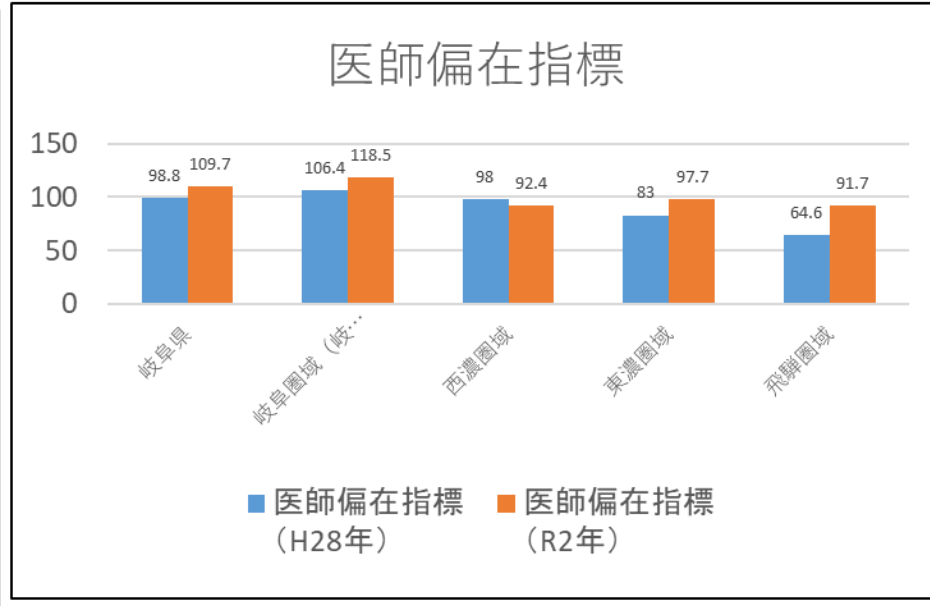
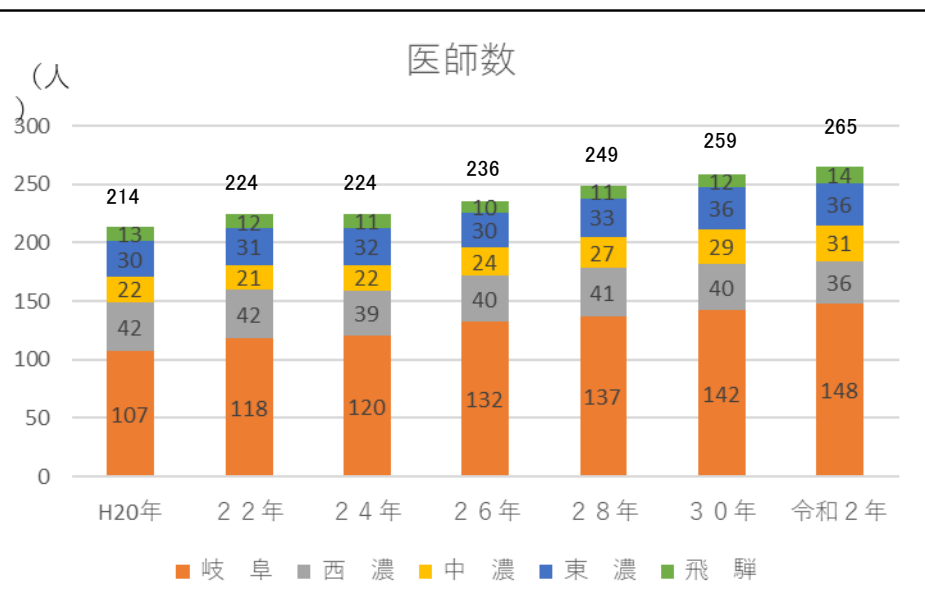
令和5年4月厚生労働省提供
 医師偏在指標に係るデータ集（抜粋）
 （R2三師統計（医師・歯科医師・薬剤師統計）より算定）

医療圏別	医師偏在指標	順位	
全 国	1 1 5 . 1		
岐阜県	1 0 9 . 7	2 9 位	
岐阜・中濃医療圏	1 1 8 . 5	1 0 4 位	
西濃医療圏	9 2 . 4	2 0 3 位	
東濃医療圏	9 7 . 7	1 8 1 位	
飛騨医療圏	9 1 . 7	2 0 7 位	下位33.3%

岐阜県における医師の現状（小児科）

～医師・歯科医師・薬剤師統計から～

	医師数(人)							医師偏在指標		
	H20年	H22年	H24年	H26年	H28年	H30年	R2年		H28年	R2年
岐阜県	214	224	224	236	249	259	265	岐阜県	98.8	109.7
岐阜	107	118	120	132	137	142	148	岐阜 (岐阜・中濃)	106.4	118.5
西濃	42	42	39	40	41	40	36	西濃	98.0	92.4
中濃	22	21	22	24	27	29	31			
東濃	30	31	32	30	33	36	36	東濃	83.0	97.7
飛騨	13	12	11	10	11	12	14	飛騨	64.6	91.7



県における主な医師確保対策について

■地域枠卒業医師の確保

- 医学部の入学定員は、卒業後一定期間の地域医療等への従事を条件とする修学資金を設定することで、暫定的に増員が認められている。
- 本県においても、平成20年度から岐阜大学と連携して、岐阜大学医学部医学科の入学定員に「地域枠」を設けている。

◆岐阜大学医学部定員と地域枠定員の推移

区 分	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度～	H27年度～
入学定員	80名	90名	100名	107名	110名
うち地域枠定員	0名	10名	15名	25名	28名

◆卒業勤務

医師 免許 取得	初期臨床研修 (2年間)	県内の医療機関等における勤務(7年間)	
		知事が指定する医療機関等(4年間)	県内の医療機関等 (3年間)
	県内の臨床 研修病院	岐阜圏域以外	

県における主な医師確保対策について

H31年度～ 地域枠の中に地域医療コースを設定

➤ 過疎地域等の出身者を対象に、出身市町村の医療機関での勤務を義務付け



- 海津市(旧南濃町、旧平田町)、美濃加茂市、白川町、東白川村、美濃市、郡上市、瑞浪市、中津川市、恵那市、高山市、飛騨市、下呂市、白川村の13市町村
- 過疎市町村等の出身市町村と出身圏域での勤務を義務付け

◆ 卒後勤務

医師 免許 取得	初期臨床研修 (2年間)	県内の医療機関等における勤務(7年間)		
	出身圏域の 臨床研修病院	知事が指定する医療機関等 (4年間)		出身圏域 (残り期間)
出身市町村 (2年以上)				

県における主な医師確保対策について

■ 岐阜県医学生修学資金貸付制度

- 岐阜大学医学部の地域枠医学生対象に対する修学資金(第1種)
- 岐阜大学医学部地域枠医学生以外の医学生に対する修学資金(第2種)



一定の条件を満たした場合は修学資金返還を免除

	第1種修学資金	第2種修学資金
貸付対象	<ul style="list-style-type: none">○平成30年度(2018年度)以前に岐阜大学医学部医学科地域枠に入学した者○平成31年度(2019年度)以後に岐阜大学医学部医学科地域枠(岐阜県コース又は地域医療コース)に入学した者	<ul style="list-style-type: none">○岐阜大学医学部医学科入学・在学者(地域枠入学者を除く)○他の都道府県に所在する大学の医学部医学科入学・在学者(自治医科大学を除く)